

山紫海碧

H29Ver

東 村 立 有 銘 小 学 校

児 童 数 男 13 人 女 13 人 計 26 人

山紫に海碧く 万古に清き有銘川 ♪

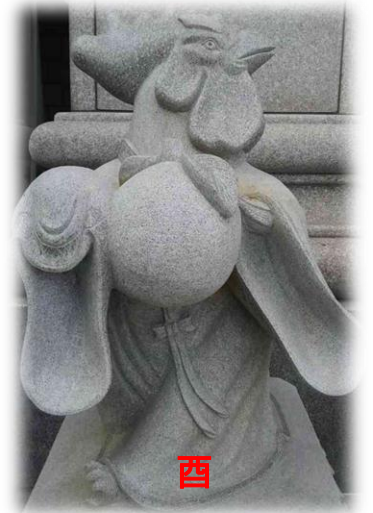
発 行 校 長 古 謝 治



亥



戌



酉

台湾「花蓮」の大理石工場正面に置かれている干支の石像

昨年末の忙しい時期、職場には多少迷惑をかけたが、久しぶりに台湾旅行に出かけた。85歳になる母親を台湾一周旅行に連れて行きたいという妹からの提案で実現したが、母親は超後期高齢者！足腰や健康面にも不安がある。そこで今回は、普段、旅行ではあまり利用しないツアーでの参加を選んだ。3泊4日全観光&全食事付きの台湾一周旅行。添乗員も那覇から同行！海外旅行保険にも加入した。これでいくらか不安もなくなったが、ツアーに付きものなのが「お土産品店」巡り。「民芸品店」「お茶屋」「宝石店」「免税店」と強制連行されたが、写真は台湾東部最大の都市「花蓮」の「大理石工場」の正面玄関で撮影したもの。台湾を代表する景勝地「太魯閣峽」は、長い年月をかけ大理石を浸食してできた険しい断崖で、深い谷と岩壁が作り出す風景はダイナミックだった。

ところで、十二支が忘れ去られずにいるのは、ただ、年賀状の図案にその年の十二支の動物が多く使われることと、人々がその生まれ年の干支によって、「〇〇年(どし)生まれ」のような言い方をする習慣が残っていることの二つの理由があるためと考えられるからとか。ん!? もしかして私、戌年生まれ!? 6巡目に入る戌年生まれ!? ん!? もしかして私って還暦(〜)!!!! エッ,,, 絶句,,, ...

平成三十年 戌年 新年明けましておめでとう
ございます。
今日、一月九日からの三学期のスタートは、
年末年始をそれぞれの家庭でゆっくり過ごした
子どもたちが元気いっぱい、いい顔で登校して
くれました。なによりもうれしいことです。
「一年の計は元日にあり」と言われるように、
子どもたち一人一人がそれぞれの目標をもって
新しい年をスタートしてほしいものです。
その実現のためには、子どもたち一人一人に
確かな学力を定着させるべく、「わかる授業」を
めざし「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」「学校が楽
しい」と言う気持ちを味わわせることが大切で
す。
また、保護者からの「学校や担任への建設的
なご意見やご要望」が確実に学校まで伝わるこ
とも極めて重要になります。
学校・保護者・地域とのより一層の相互連携
で子どもたちをキラキラと輝かせ、一人一人の
「夢実現」に向け、共に知恵を出し合い、共に
汗を流していきましょう。
三学期も全職員一丸となって、「**すべては有銘
っ子のために!**」を合い言葉に全力で取り組ん
で参ります。どうかご理解とご協力をよろしく
お願い申し上げます。
ご家庭におかれましては、この一年がほのぼ
のと幸せな年になりますように!



新年明けまして

おめでと〜うございませう

校長 古謝治



三学期がスタートしました！



知花めいさん
〈代表あいさつ〉

今日から三学期が始まります。私は三学期がんばりたいことが**三つ**あります。**一つ目は**、八幡町交流です。学校行事で山形に行けるのはめったにない機会なので、たくさん友達をつったり、山形でしかできないことを楽しんでいきたいと思います。**二つ目は**、勉強です。三学期になると漢字検定や学力テストなどがあります。さらに中学生になると勉強が難しくなるので、今のうちに準備をしておきたいと思います。**三つ目は**、児童会です。三学期は児童会を5年生へ引き継ぐので、それまでに有銘校をさらに良くさせたいと思います。私たち6年生にとって小学校最後の三学期を悔いのないようがんばりたいです。



4人の児童が欠席のため、写真を一部合成しています。



すべては「有銘っ子のため」今年も全力でがんばります！

2018年、平成30年、いぬ年、新年明けましておめでとうございます。今日は、まず、みなさんが健康で元気に学校に来てくれたことに校長先生はとてうれしく思っています。昔から、「**一年の計は元旦にあり**」と言われる。そのことわざの意味は、一年間の目標や計画は、元旦に決めるのが良いということだったり、何事も最初に計画や準備が大切ですよ、初めの計画ができていないと物事はうまくいかないですよという意味です。三学期は、一番短い学期で、一年間の締めくくりをして、仕上げをする、とても大切に、大変忙しい学期です。6年生のみなさんにとっては、小学校生活最後の学期になりますね。また、1年生から5年生のみなさんは、学年が一つ上がる年になりますね。**一生懸命勉強し、一生懸命働き、一生懸命遊び、新しい学年を迎える頭と心と体をしっかり準備する三学期**にしましょう。2018年いぬ年も、**かしこくて、たくましくて、心優しい有銘っ子として、笑顔・感動・挑戦でがんばる**ことのできる**わんわんワンダフルな一年**になりますように！先生方みんな応援しています！！

いぬ(戌)に関する慣用句、ことわざ等

- 「**犬も歩けば棒に当たる**」→ でしゃばると思わぬ災難にあうという戒め。また、転じて全く逆の意味で、じっとしていないで何でもいからやってみれば思わぬ幸運にあうことのとたとえで使われることもある。
- 「**犬猿の仲**」→ 非常に仲が悪いことのとたとえ。
- 「**飼い犬に手を噛まれる**」→ 日頃からかわいがり面倒をみてきた者からひどく裏切られたり、害を受けたりすること。
- 「**夫婦喧嘩は犬も食わない**」→ 夫婦喧嘩は、つまらない原因であったり、一時的なものであったりするから、他人が間に入って仲裁したり心配するものではないというたとえ。知らんぷりが一番。
- 「**犬が西向きゃ尾は東**」→ 当たり前すぎるほど当たり前であることのとたとえ。
- 「**負け犬の遠吠え**」→ 臆病者が本人の前では出来ないくせに、陰では威張ったり悪口を言ったりすることのとたとえ。
- 「**尾を振る犬は叩かれず**」→ 従順な人は、誰からもひどい仕打ちを受けることはないことのとたとえ。
- 「**象の背中で犬に咬まれる**」→ 安全な家の中にも災難はいつやってくるかわからないことのとたとえ。
- 「**犬一代に狸一匹**」→ 犬が大きな狸を捕まえられるのは一生に一度くらいしかありえない意味のとたとえで、一生で大きなチャンスを得られるのは何度もあることではないですよということ。
- 「**犬は三日の恩を三年忘れず**」→ 犬はわずかな期間（三日）でも良くしてもらった恩は長い期間（三年）でも忘れない。人間なら、なおさら恩義を忘れてはいけないという戒め。
- 「**犬骨折って鷹の餌食**」→ 犬が苦勞して追い出した獲物を鷹に取られること。苦勞して手に入れかけたものを他人に奪われてしまうことのとたとえ。
- 「**犬馬の心**」→ 主君や親のために尽くす忠誠心のこと。

やはり昔から犬と人間は共存してきたからだろうか？この他にも「犬」が登場する慣用句やことわざは、国内外たくさんあるが、犬の忠実さや犬に対する愛情を表現したものは、意外に少ない。わざわざ低俗な人や悪い意味に「犬」を使わなくてもいいのに！と思うが、きっと昔から犬と人間は他の動物よりも近い間柄だったからでしょうね。

さあ、**2018年 戌年 スタート！** 学校は卒業式や修了式が間近な年度末。一人一人の子が有終の美を飾ることができるように♪ナンバーワンにならなくてもいい もともと特別なオンリーワン♪ いろいろな場面で**ワンダフルな一年**になってほしい。